

令和2年度健康診断費等費用補助制度のご案内

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、健診の受診に関して多くの医療機関で影響が発生しています。感染予防措置を取り通常通り実施している医療機関がある一方で、緊急事態宣言に伴い健診業務を一時休止、又は一部項目(胃内視鏡・肺機能など)を中止して継続する等、対応は医療機関によって異なります。

令和2年4月16日付のご案内「緊急事態宣言を踏まえた健康診断等の実施について」において、補助の内容は昨年度と変わらないとご案内いたしましたが、上記のような状況を受けて、今年度の健診補助の内容を**一部変更**することといたしました。

つきましては、以下の案内をよく読んでいただき、受診希望者について事業所ごとにとりまとめ、別紙申込書に必要事項を記入のうえ、**7月10日(金)までに**当組合宛提出願います。

なお、毎年7～8月に実施しております健保委託機関での生活習慣病健診及び日帰り人間ドックは、現在**9月以降**で日程調整をしているところです。こちらをご希望の方は、別紙申込書の委託機関の欄に○をご記入下さい。ただし、今後の新型コロナウイルスの発生状況によっては、変更・中止となる場合もありますので、予めご了承ください。

健診費用の請求の受付締切は、今年度より令和3年2月末日とする予定でしたが、例年通りの**令和3年3月末日まで**とします。期限内に請求関連書類をご提出下さいますようお願いいたします。

※緊急事態宣言が解除されたとはいえ、まだまだ油断できない状況が続きます。
健診を受診される際には、各自マスクの着用や手指の消毒、手洗いやうがいなどの対策を徹底していただき、感染リスク予防に細心の注意を払っていただきますようお願いいたします。

1. 健診名及び対象者

健診名	実施年月	医療機関	対象者	申込
① 生活習慣病健診	R2年4月～ R3年2月	希望する医療機関	35歳以上の被保険者で希望する方	要
② 日帰り人間ドック		希望する医療機関	35歳以上の被保険者は3年に1回、 50歳以上の被保険者は毎年受診可	要
③ 脳ドック		希望する医療機関	35歳以上の被保険者は3年に1回、 50歳以上の被保険者は毎年受診可	要
④ P E T 検診		希望する医療機関	40歳以上の被保険者に対し3年に1回 補助	要
⑤ 乳がん検診 子宮がん検診		希望する医療機関	女子被保険者で希望する方	不要
		希望する医療機関		不要
⑥ 胃がん検診 大腸がん検診 肺がん検診 前立腺がん検診		希望する医療機関	被保険者 (生活習慣病・人間ドックの受診者除く)	不要
		希望する医療機関		不要
		希望する医療機関		不要
		希望する医療機関		35歳以上の被保険者

※各自で医療機関へ予約の上、受診して下さい。(ドック・生活習慣病予防健診の健保委託機関希望の場合除く)

※申込が必要となっている健診は、別紙申込書を提出して下さい。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、健診(検診)受診に関しましては、健診機関のホームページ等で対応状況をご確認のうえご受診下さい。

2. 各種健診の内容および健保組合補助額

- 生活習慣病健診及び日帰り人間ドックについては必須検査項目を欠かさず受診した場合のみ補助の対象としますのでご注意ください。ただし、今年度に限り、新型コロナウイルスの影響により、一部検査が中止となっていて必須項目を満たせない場合は、補助額を減額して支給します。その場合は、新型コロナウイルスの影響による検査中止であることが確認できる書類を添付して請求して下さい。(例：健診機関のホームページのコピー)
- 健診受診時には中止されていた検査が後日再開され、追加受診された場合は、全項目受診として補助請求できます。追加受診を計画されている方は、なるべく追加受診後にまとめて請求するようにして下さい。
- 健診受診日時点で当健保組合の資格を喪失している場合は補助の対象となりませんのでご注意ください。(任意継続健康保険も対象外)
- 保険証は使用しないで下さい。使用された場合は補助の対象外となります。

①生活習慣病健診

【補助額】

※下記検査項目の必須項目(★)を全て受診した場合に限ります。

※健保委託機関で受診する場合の胃部検査はX線(バリウム)での実施となります。

※上部消化管系の検査で、胃がんリスク検診(ABC検診)は必須項目とは認めません。

※新型コロナウイルスの影響で胃部検査中止となり受診できなかった場合は、相当単価として一律6,000円(税込)を減額して支給します。

健保委託機関で受診した場合 (福井県労働衛生センター)	受診者負担なし (健保負担 16,830円)	※9月以降の予定
他医療機関で受診した場合	20,000円(税込)を限度として健診費用実費を補助	

【検査項目】

必須	区分	検査項目
★	既往歴の調査	服薬歴及び喫煙習慣の状況に係る調査を含む
★	身体計測	身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力
★	呼吸器系	胸部X線
★	循環器系	血圧測定、心電図
★	上部消化管系	胃部X線または内視鏡(*)
★	下部消化管系	便潜血(2回法)
★	肝・胆・膵機能系	AST(GOT)、ALT(GPT)、ALP、 γ -GTP
★	血中脂質	総コレステロール、中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール
★	糖尿病	尿糖、空腹時血糖、HbA1c
★	腎・尿路系	尿酸、尿蛋白、尿潜血、クレアチニン、eGFR
★	血液学的検査	赤血球数、白血球数、血色素測定、ヘマトクリット値

当組合で検査中止を把握している項目は(*)のみですが、他にある場合は受診前に健保までご一報下さい。

②日帰り人間ドック

【補助額】

※下記検査項目の必須項目(★)を全て受診した場合に限ります。

※**健保委託機関で受診する場合の胃部検査はX線(バリウム)での実施となります。**

※上部消化管系の検査で、胃がんリスク検診(ABC検診)は必須項目とは認めません。

※新型コロナウイルスの影響で胃部検査中止となり受診できなかった場合は、相当単価として一律6,000円(税込)を減額して支給します。(肺機能検査のみ中止の場合は減額なし。中止が確認できる書類を提出)

健保委託機関で受診した場合 (福井県予防医学協会)	受診者負担なし (健保負担 33,000円)	※9月以降の予定
他医療機関で受診した場合	35,000円(税込)を限度として健診費用実費を補助	

【検査項目】

必須	区分	検査項目
★	既往歴の調査	服薬歴及び喫煙習慣の状況に係る調査を含む
★	身体計測	身長、体重、BMI、腹囲、聴力検査
★	呼吸器系	胸部X線、 肺機能(*)
★	循環器系	血圧測定、心電図、心拍数
★	腹部超音波	肝・腎・膵・胆・脾臓
★	上部消化管系	胃部X線または内視鏡(*)
★	下部消化管系	便潜血(2回法)
★	肝・胆・膵機能系	AST(GOT)、ALT(GPT)、ALP、 γ -GTP、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、HBs抗原
★	血中脂質	総コレステロール、中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール
★	糖尿病	尿糖、空腹時血糖、HbA1c
★	腎・尿路系	尿酸、尿蛋白、尿潜血、尿比重、PH、尿沈渣、クレアチニン、eGFR
★	血液系	赤血球数、白血球数、血色素測定、ヘマトクリット値、血小板数、MCV、MCH、MCHC
★	血清反応	CRP
★	眼科	視力、眼底

当組合で検査中止を把握している項目は(*)のみですが、他にある場合は受診前に健保までご一報下さい。

③脳ドック

【補助額】

※他の健診(検診)と同時に受診した場合は、費用の内訳が確認できる領収書を発行してもらって下さい。

脳ドック	25,000円(税込)を限度として検診費用実費を補助
------	----------------------------

【検査項目】

区分	検査項目
身体計測	身長、体重、BMI、腹囲、聴力検査
循環器系	血圧測定、心電図、
採血・検尿	
画像検査	頭部MRI、MRA
超音波検査	頸動脈
知能検査	記憶力・認知能力

④PET検診

【補助額】

※他の健診(検診)と同時に受診した場合は、費用の内訳が確認できる領収書を発行してもらって下さい。

PET検診	35,000円(税込)を限度として検診費用実費を補助
-------	----------------------------

【検査項目】

区分	検査項目
画像検査	PET 全身

⑤乳がん検診・子宮がん検診

【補助額】

※乳がん検診・子宮がん検診それぞれの費用が確認できる領収書を発行してもらって下さい。

乳がん検診	4,000円(税込)を限度として検診費用実費を補助
子宮がん検診	4,000円(税込)を限度として検診費用実費を補助

【検査項目】

区分	検査項目
乳がん検診	視触診、超音波検査またはマンモグラフィ
子宮がん検診	診察、経膈超音波検査、頸部細胞診

⑥がん検診単独

【補助額】

※胃がん・大腸がん・肺がん検診は、生活習慣病健診・人間ドックに含まれているため、生活習慣病健診・人間ドック受診者は対象外。

※前立腺がん検診は、生活習慣病健診・人間ドックとの併用可とする。

※胃がん検診に、胃がんリスク検診(ABC検診)は認めません。

※それぞれの検診費用が確認できる領収書を発行してもらって下さい。

胃がん検診	2,000円(税込)を限度として検診費用実費を補助
大腸がん検診	2,000円(税込)を限度として検診費用実費を補助
肺がん検診	2,000円(税込)を限度として検診費用実費を補助
前立腺がん検診	1,000円(税込)を限度として検診費用実費を補助

【検査項目】

区分	検査項目
胃がん検診	X線(バリウム)、内視鏡
大腸がん検診	便潜血、内視鏡
肺がん検診	X線、喀痰
前立腺がん検診	PSA

3. 健診費用の請求方法

- 生活習慣病健診・日帰り人間ドックは、必須検査項目を受診した場合に補助の対象となりますのでご注意ください。ただし、新型コロナウイルスの影響で胃部検査中止となり受診できなかった場合は、相当単価として一律6,000円(税込)を減額して支給します。
- 請求の受付締切は令和3年3月末日です。同日以降は受付できかねますので、可能な限り早い時期に健診を実施し、医療機関への支払・結果表の発行等が済みましたら速やかに健保組合へご提出をお願いいたします。

《委託機関にて指定日に受診された場合》

生活習慣病健診及び日帰り人間ドックともに、受診者負担はありませんので、費用請求は不要です。

《その他（指定日以外や他医療機関で受診）の場合》

- ① 医療機関にて健診(検診)費用全額の支払いを済ませて下さい。
- ② 別添請求書に必要事項を記入・捺印し、領収書(写)および健診結果表(写)を添付して健保組合へ送付して下さい。

※ **新型コロナウイルスの影響で受けられなかった検査がある場合は、そのことが確認できる書類(医療機関からの通知やHPのお知らせ画面など)を添付して下さい。**

※ 全ての健診(検診)について結果表(写)の添付が必要です。

※ 健診結果表は表紙も含めて写しをお取り下さい。(医療機関名・医師名等確認の為)

※ 40歳以上の方は、受診前に回答される問診票(写)も提出して下さい。(医療機関へ提出される前に写しをお取り下さい。)